

2019 ANRRC セッション講演・ポスター発表

日時：2019年10月16日（水）-18日（金）

会場：University of the Philippines Los Banos, College, Laguna, Philippines)

参加リソース・課題

・講演：プロジェクト全体説明、シロイヌナズナ等実験植物/植物培養細胞・遺伝子、遺伝子材料、一般微生物、ABS、トマト

・ポスター発表：ABS、コムギ、オオムギ、情報センター

○大会参加者：約90名

・アジアにおけるリソース事業情報の取得およびそれら関係者とのコネクションの形成を目的に、毎年参加しています。

・今までは、日本・中国・韓国の3か国で開催国を回していましたが、今回初めて3か国以外の国での開催となります。場所も都市部から離れているためか、参加者のほとんどはフィリピン国内の研究者の方でした。

・NBRPのプログラムオフィサーであります理研BRCの小幡裕一先生は基調講演で国連による持続可能な開発目標の話のリソース保存に絡め、NBRPの各プログラムと推進体制について紹介をしていただきました。また、NBRPプログラムスーパーバイザーであります国立遺伝学研究所の小原雄治先生は、日本におけるゲノム解読技術の進展に絡め、NBRP事業で展開していますゲノム情報等整備プログラムについて紹介をしていただきました。

今大会では、例年以上に多くのNBRP関係者が発表・参加した大会となりました。



